



東京多磨霊園に建てられた墓碑

史上最大の新薬と称される「スタチン」を発見・開発された世界的研究者、遠藤章博士は令和6年6月5日、90歳で逝去されました。私ども遠藤章博士顕彰会にとりまして、博士をお見送りしてから1年5か月を迎える今日、思いは薄れることなく、在りし日の温かな笑顔と創薬への尽きぬ情熱、郷里への深い愛情が日々胸に蘇ります。ここに改めて、博士のご逝去から一周忌法要までの経緯を会員の皆様に謹んで報告申し上げ、博士のご冥福を心よりお祈りいたします。

#### ■逝去から葬儀までの経緯

博士は6月5日に逝去され、喪主は令夫人で言語学者・元文教大学教授の遠藤織枝様が務められました。通夜は6月9日、告別式は10日に執り行われ、多くの関係者が参列。宗派は浄土真宗（大谷派）で、法名

は「盛勵院釋草薬居士」であります。弔辞は児玉龍彦医学博士（東京大学先端研）が読み上げ、博士の世界的功績と温かな人柄が偲ばれました。訃報は11日、名誉教授・特別栄誉教授を務めた東京農工大学より公表され、直後から主要メディアが大きく報道。秋田魁新報は号外や特集報道を行い、児玉博士による追悼記事も掲載されました。国外でもニューヨーク・タイムズ、英國のザ・タイムズなどが報じ、その訃報は世界へ広がりました。

#### ■七七日法要

七七日法要は7月20日、ご家族によりしめやかに営まれました。喪主の遠藤織枝様からは「芳志は日ごろ『人のために』と申しておられました故人の遺志に添い、能登半島地震で被災された方々へ義援金として珠洲市に寄付いたしました」との

お便りを頂戴し、博士の優しさと志が受け継がれていたことに深く胸を打たれました。私ども遠藤章博士顕彰会は「盛勵院釋草薬居士」であります。弔辞は児玉龍彦医学博士（東京大学先端研）が読み上げ、博士の世界的功績と温かな人柄が偲ばれました。訃報は11日、名誉教授・特別栄誉教授を務めた東京農工大学より公表され、直後から主要メディアが大きく報道。秋田魁新報は号外や特集報道を行い、児玉博士による追悼記事も掲載されました。国外でもニューヨーク・タイムズ、英國のザ・タイムズなどが報じ、その訃報は世界へ広がりました。

#### ■遠藤章博士を偲ぶ会

9月1日、顕彰会主催により「遠藤章博士を偲ぶ会」を開催。博士の長男・遠藤浩幸様、由利本荘市長、市議会議長、一交会会長、中高生代表など多くの関係者が参列し、博士の偉業と人となりを温かく偲びました。この会を含む「遠藤章博士追悼集」は同年12月に発行いたしました。

■東京農工大学「遠藤章先生を偲ぶ会」

10月5日、博士ゆかりの東京農工大学にて「遠藤章先生を偲ぶ会」が開催され私も発起人として参列しました。遺族、大学関係者、研究者、卒業生らが集い、発起人代表・蓮見特任教授の挨拶に続き、千葉学長、東北大学富永総長、湊由利本荘市長などが博士の栄誉を称えました。その後、児玉龍彦医学博士ら4名による追悼講演が行われ、博士の世界的業績や創薬研究の現状、残された功績の大きさが語られました。会食の本荘市長などが博士の栄誉を称えました。その後、児玉龍彦医学博士ら4名による追悼講演が行われ、博士の世界的業績や創薬研究の現状、残された功績の大きさが語られました。会食の

秋田県知事からのビデオメッセージ、奥様の博士の野菜づくりにまつわるお話を紹介され、会場は温かな空気

であります。私は、博士の偉業と精神を未来へ確かに継承してまいります。

顕彰会は、博士の偉業と精神を未来へ確かに継承してまいります。

# 遠藤章博士のご冥福をお祈りして

遠藤章博士顕彰会会長 佐々田亨三

# 遠藤章博士顕彰会

発行責任者  
遠藤章博士顕彰会  
会長 佐々田亨三  
☎0184-72-2045

## 講演会

# 遠藤博士の教え子が講師



11月8日鶴舞会館で開催した遠藤章博士顕彰会講演会

## 遠藤さん研究の志高く



### 没後1年、教え子語る

講演会

由利本荘

講演で遠藤さんとの思い出などを語る小泉さん

カニズムをもつ血栓溶解剤の候補化合物を探索し、血栓性疾患の新しい治療薬の開発に貢献したいと考えています。本日の講演では、私と遠藤先生と

お話ししたいと思いましてお話をうながしてから講演に入られました。

11月11日に秋田まがけ新聞に掲載されましたので、秋田魁新報社から「了解をいただき転載させていただ

本荘市名譽市民・由利博士没後1周年記念の「遠藤章博士顕彰会講演会」を11月8日本荘地域の鶴舞会館で開催しました。

講師は秋田大学医学系研究科医学専攻分子機能学・代謝機能学講座助教の小泉幸央博士（昭和48年生まれ・神奈川県鎌倉市出身・農学博士）で、日本大学、東京農工大学

立地、私は学生時代に遠

藤章先生と出会い、講演に先

立ち、興味を抱きました。

現在は、既存の血栓溶解

活性とは異なる新しいメ

トリーを研究を続けており

ます。

興味を抱きました。以来、

「微生物創薬」を目指し

て研究を続けております。

現在は、既存の血栓溶解

活性とは異なる新しいメ

トリーを研究を続けており

ます。

興味を抱きました。以来、

「微生物創薬」を目指し

て研究を続けております。

興味を抱きました。以来、

「

## 話題

金子拓雄さんが  
「紫白綬有功章」授章

公益社団法人大日本農会が主催する「令和7年度農事功績者表彰式」で、本会理事の金子拓雄さんが全国でただ一人、「紫白綬有功章」（しづくじゅゆうこうしょう）を授章しました。

金子さんは、平成24年に「緑白綬有功章」（りょくはくじゅゆうこうしょう）を授章していますが、このたびの「紫白綬有功章」は農事功績者表彰の中の最高位の章で、11月12日に東京の赤坂シティホテルで、大日本農会総裁の秋篠宮皇嗣殿下より直接、表彰状と記章を拝受いたしました。

金子さんの功績は、水稻栽培を基盤としてフランス鴨の飼育や、メロンなどの野菜生産を行う複合経営に取り組んだほか、フランス鴨の加工にも取り組み、地域を代表する特産品開発に貢献したことが認められたもので、全国から毎年1~2人が授章していますが、このたびは金子さんだけの授章です。

おめでとうございました。



12月5日湊由利本荘市長に授  
章を報告（写真・由利本荘市）

遠藤章博士顕彰会の  
ホームページをご利用ください。  
QRコードからも  
閲覧できます。



左から畠山忠男顧問、遠藤織枝さん（博士夫人）、  
遠藤章博士  
2005年7月29日 鳥海山、矢島ロート「康ケルン」にて撮影

## ト報

島高高校長  
氏（元県立矢  
島高校校長）  
が、令和7年

畠山氏は遠藤章博士と  
県立本荘高校下郷分校の  
同級生で、生涯の友人関  
係を築かされました。

7月12日92歳で永眠され  
ました。

畠山氏と遠藤博士はお互  
いに電話を通じて健康を  
気遣い、励まし合つてい  
ました。

また、畠山氏から顕彰  
会の設立と運営において、  
多大なるご尽力を賜りました。  
そのご貢献は今後  
も顕彰会の活動に息づいて  
いきます。

心よりご冥福をお祈り  
申し上げます。

## 畠山顧問が逝去されました

博士がノーベル賞候補  
になつた際、誰よりもそ  
の受賞を心から待ち望ん  
でおられました。晩年も、  
畠山氏と遠藤博士はお互  
いに電話を通じて健康を  
気遣い、励まし合つてい  
ました。

博士がノーベル賞候補  
になつた際、誰よりもそ  
の受賞を心から待ち望ん  
でおられました。晩年も、  
畠山氏と遠藤博士はお互  
いに電話を通じて健康を  
気遣い、励まし合つてい  
ました。

## 遠藤章博士の展示をリニューアル

これまで八塩生涯学習センター（旧八塩小学校の校舎）にあつた「遠藤章博士顕彰室」は、施設の老朽化で残念ながら今年3月で閉館しました。そこで、博士の貴重な功績を伝える展示資料を、東由利公民館図書室の片隅と、東由利総



東由利公民館図書室に開設した顕彰展示コーナー

## 7年度総会は理事会と同日開催

令和7年度の遠藤章博士顕彰会の理事会と総会を、6月21日有鄰館で開催しました。

総会の出席者は理事を主体とした16人で、6年度の事業報告と決算報告、7年度の事業計画と予算について話し合いました。

事業報告については1ページの「会務報告」を参照ください。決算書は会員の皆さまに配布しましたのでご覧ください。



7年度総会の様子



## 偉人資料館の設置を期待

遠藤章博士顕彰会では、音楽家小松耕輔、児童作家高橋宏幸など東由利地域の偉人を顕彰する独立した資料館の早期設置に期待を寄せています。

また、今年も東由利中学校の生徒たちが、遠藤章博士の学習活動の一環として、定期的に顕彰碑の清掃に取り組んでいました。大変ありがとうございました。おかけさまで顕彰碑はいつも美しく

保たれています。この夏も記録的な猛暑となりましたが、顕彰碑を訪れる方々は年々増えています。誠に喜ばしいことです。見学され

る皆さんに気持ちよく訪れていただくためにも、

新たに設置したベンチと、作業を終え一服する部会員

顕彰碑守りつなぐ5年目の活動  
東由利中生が支援

定期的に顕彰碑の清掃に汗する東由利中の皆さん



## 編集室から

令和7年度顕彰会の諸事務も皆さまのご協力により計画どおり進めることができました。会報第6号としているところです。金子拓雄さんの「紫白綬有功章」の授章は、東由利地

域にとってうれしい話題です。授章記念祝賀会を長谷山博昭さんを委員長とする実行委員会がホテルアリスで1月下旬に開催する予定です。僭越ながら私どもが案内状の発送など事務を担当します。農業関係者の皆さまをはじめ、金子さんとゆかりのある方、また本会の関係者

に感謝し、快復を心よりお祈り申し上げます。（小野）